

# 令和3年度 事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

## 1. 事業の成果

- ① 小田原市を中心に県西地区在住の障害がある方（知的、精神、肢体不自由）を対象に、創作・表現活動の場を継続的に提供し、障害者の社会参加を推進した。
- ② 障害者就労継続支援B型に加え、生活介護サービスを令和3年4月に開始した。登録者数はB型35名、生活介護17名。（定員：就B20名・生介10名）創作活動のほか、グッズ制作販売、作品リースや名刺の配達、農園作業、清掃、調理、ギャラリー、カフェ業務など、就労支援の幅が拡大した。
- ③ R3年4月、新施設開所に向けてクラウドファンディング「障がいがある人たちが自分らしく生きられるアトリエをつくる」を実施し目標を達成した。（2020年12月1日～2021年2月28日）  
リターンには、絵画作品やグッズ等を発送した。その他オンラインクロストークの視聴権をリターンとした。5/20・6/3・6/10・6/20・7/30 全5回生配信し、法人の理念と活動を周知する機会となった。寄附金は、新施設内で使用する備品等に充当した。
- ④ 神奈川県黒岩知事、首藤副知事が来所。（2022年10月18日）利用者との対話を目的とした来訪であり、日常で楽しいこと、心配なこと、夢など、「日常生活を豊かに過ごすために自己決定する大切さ」をテーマに利用者等と対談を行った。当事者が自己選択することを理念とする同法人の人権意識に共感され、利用者をリスペクトされるお言葉を戴いた。

## 2. 事業実績

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 芸術活動及び生涯学習を通じた障害者の自立促進事業

##### ア. 障害児者の創作活動の事業

###### <アートワークショップ>

- ・内容 アートディレクターによるアートワークショップを実施。
- ・日時 R3.4.1～R4.3.31 全23回（月2回）
- ・場所 久野アトリエ（小田原市久野403-17）
- ・従事者人員 講師を含むボランティア延べ50人
- ・受益対象者 障害がある方延べ298人（前年度：16回開催/参加者127人）

###### <ともに生きるアート展2ワークショップ>

- ・内容 小田原養護学校の児童を対象にアートワークショップを開催。R4年2月にオンライン展覧会を開催した。
- ・日時 ワークショップ R3.7.19・R4.1.12

ともに生きるアート展2 R4.2.23～2.28

- ・場 所 小田原養護学校およびギャラリーNEW新九郎
- ・従事者人員 アートディレクターを含むスタッフ10人
- ・受益対象者 障害者・一般 155人

イ. 美術・音楽・スポーツに関する体験事業

- ・ R3年8月平塚美術館で開催された studio COOCA「パッパラパラダイス 2021-これがとってもとくいです」展へ、支援員と利用者等30名余が参加、絵画鑑賞された。
- ・小田原音楽フェスティバル「新ホールに響け！市民による第九」を鑑賞。利用者のご家族様が鑑賞した。 R4.3.13 小田原三の丸ホール

ウ. あれこれ体験に関する事業

- ・内 容 講師によるオンラインヨガ・英会話・織り・ダンスワークショップを実施した。

<親子でヨガワークショップ>

- ・日 時 R3.4.1～R4.3.31 全10回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ2人
- ・受益対象者 障害児者、保護者 延べ87人 (前年度：11回開催/参加者57人)

<織りワークショップ>

- ・日 時 R3.4.1～R4.3.31 全19回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 スタッフ1人
- ・受益対象者 障害児者 延べ32人 (前年度：17回開催/参加者19人)

<英語ワークショップ>

- ・日 時 R3.4.1～R4.3.31 全20回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ3人
- ・受益対象者 障害児者、一般 延べ98人 (前年度：14回開催/参加者55人)

<スクランブルダンスプロジェクト>

- ・内 容 講師に舞踏家、松岡大氏を迎え、障害のある無しに関わらず一緒に舞踏を楽しむワークショップと発表会を実施した。
- ・日 時 R3.11月(4回)・12月(3回)・R4.1月(2回)  
R3.12/26 「無限に咲く」新作公演 ピアノカフェ伊勢治～三の丸ホール  
R4.1/22-23 アートコンプレックス 小田原三の丸ホールにて  
R4.2/2 映像作品「いま、生まれたばかり」YouTube 配信
- ・場 所 小田原市内
- ・従事者人数 講師を含むスタッフ20人
- ・受益対象者 障害児者、一般 利用者57人、一般300人

### エ 制作物の二次使用による広報事業

- ・内 容
  - ・アで創作された著作物を二次使用し、一般へ広く発信することができた。絵画作品を定期的に貸出しするリース事業では、R4年2月より、神奈川県知事執務室へリースを開始、共生社会への啓発普及に貢献した。
  - ・コクヨ（株）商材への起用（通年）、パラリンピック神奈川県聖火出立式ポスター、ベルマーレフットサルホームゲームフラーヤー、はまぎん・ミライを創るアクションプログラム 他
- ・日 時 通年
- ・場 所 小田原市、南足柄市、平塚市、横浜市、川崎市、東京都
- ・従事者人員 就労B型利用者およびスタッフ10人
- ・受益対象者 障害者、一般

## ②障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

### ア. 障害福祉サービス事業所アール・ド・ヴィーヴル

- ・内 容 就労支援・生活介護サービスを知的、精神、肢体不自由な障害がある方を対象に提供した。創作、表現活動を中心に、作品の展示作業、グッズ製作、農園作業、PCデータ入力、調理、配達、ギャラリー、カフェ業務など、個の特性に応じた支援を提供できた。  
R3年度はオリンピックパラリンピックイヤーであり、神奈川県オリパラ関連事業への参加協力が出来た。関連イベントへのポスターデザインや、レガシー動画への出演、小田原市で開催された聖火採火式にも利用者らが出演した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 小田原市久野 403-17
- ・従事者人員 常勤職員4人、非常勤職員10人
- ・受益対象者 18歳以上の障害がある方 就B 3,679人+生介 1,901人 延べ 5,580人  
(前年度：就Bのみ延べ 4,228人)

## ③障害児者の創作活動の紹介事業

### ア. 啓発イベント・展覧会・支援者研修事業

- ・内 容 神奈川県共生社会推進事業としてすすめてきた「ともいきアート」事業を受託した。  
新型コロナ蔓延により計画通りに事業実施ができなくなり、展覧会はオンラインで、出展者や関係者以外はできる限り会場への入場をご遠慮いただくなどの措置をとった。

<アール・ド・ヴィーヴル展 自分らしく生きる12>

- ・日 時 R3.9.22~9.27
- ・場 所 ギャラリーNEW 新九郎
- ・従事者人員 キュレーター含むスタッフ 10 人
- ・受益対象者 一般 来場者数 838 人 (6 日間) 前年度 568 人

<展覧会 とともに生きるアート展2>

- ・内 容 アール・ド・ヴィーヴルと神奈川県との共催で、県西地域の特別支援学校、小田原養護学校の生徒と卒業生の作品を中心に、展覧会を開催した。新型コロナウイルス感染症防止対策として、出展者、学校関係者のみに入場を制限し、オンライン配信とした。オンライントークイベントでは、各作品の紹介と、萩原理事長、中津川アートディレクター、神奈川県政策局 SDG's 連携担当の沖田弓弦氏との鼎談を行いYouTube 配信。会期後3月末まで行なった
- ・日 時 R4.2.23~ R4.2.28
- ・場 所 ギャラリーNEW 新九郎
- ・従事者人員 キュレーター含むスタッフ 7 人
- ・受益対象者 出展関係者 155 人・オンライン展覧会の視聴者 (視聴 300 回/7 日間)

<障害者地域支援者育成事業>

1. 講演会 やまなみ工房・山下完和施設長

- ・日 時 R3.6.20
- ・場 所 法人内ギャラリー
- ・従事者人員 講師 1 名を含むスタッフ 3 人
- ・受益対象者 施設職員、一般 16 名

イ 広報、出版に関する事業

- ・内 容 年間の活動報告のためのニュースレターを R3 年 9 月に発行。各展覧会の告知ポスター、フライヤーを作成した。通常のアート活動と作品、ギャラリーカフェ営業の様子は SNS に配信、ホームページにて更新した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 一般

◎ 令和 4 年 3 月 3 1 日現在の会員数 116 人

内訳 正会員 41 人・賛助会員 (個人) 42 人、(法人・団体) 33 団体